

科学者委員会 学術研究振興分科会（第26期・第6回）

議事要旨

1. 日時 令和7年8月28日（木）18:00～20:05
2. 会場 オンライン会議（Zoom）
3. 出席者 分科会委員（敬称略）：岩崎博史、奥村幸子、中野貴由、光石衛、宮川剛、森田一樹、山崎典子、山本晴子
4. 資料：
  - 資料1 科学者委員会学術研究振興分科会（第26期）委員名簿
  - 資料2 第5回議事要旨
  - 資料3 「学術の中長期研究戦略」の公募状況
  - 資料4 「学術の中長期研究戦略」公募終了前の確認・検討事項（案）
  - 資料5 「未来の学術振興構想（2026年版）」工程表（案）
  - 資料6 未来の学術振興構想評価小委員会の設置について（案）
  - 資料7 科学者委員会運営要綱の一部改正について（案）
  - 資料8 26期「未来の学術振興構想評価小委員会」委員検討資料
  - 資料9 事務連絡（案）「未来の学術振興構想評価小委員会の委員推薦の依頼について」
  - 資料10 「未来の学術振興構想」策定に関わる利益相反排除の方針（案）
  - 資料11 「未来の学術振興構想」策定における審査・評価プロセス及び「グランドビジョン」の具体化に向けたプロセスについて（2023年版）
5. 議事：

会議冒頭に、定足数充足と資料について、確認が行なわれた。

  - 1) 「学術の中長期研究戦略」の公募状況について

資料3に基づいて、現段階での「学術の中長期研究戦略」の公募状況が報告された。意向表明と本申請それぞれにつき、区分Ⅰと区分Ⅱに分けて応募数を確認した。掲載希望なしの回答について、実際に改訂版への掲載を希望しないのか、単に改訂をしないという趣旨なのか、不分明なものが散見されたため、当該回答について事務局経由で確認を実施することとした。
  - 2) 未来の学術振興構想評価小委員会の設置について

まず、資料4に基づいて、未来の学術振興構想評価小委員会の設置手続きが、また資料5に基づいて、手続きの工程が説明された。9月26日開催の幹事会に提案することを前提に、本日8月28日の本分科会で小委員会設置を承認した後、科学者委員会の要綱の一部改正と、委員の選任を進めていくことになることが確認された。委員名簿は9月24日の分科会で確認されることとなる。これを受けて、資料6及び資料7の内容と文案を検討し、確認した。

次に、小委員会委員の選任について議論され、前回経験者に優先的にお声がけをするのが、作業負担や前回からの時間の経過による環境の変化を考慮して、当該の方の諾否の意向を確認しつつ調整していくこととなった。これに応じ、資料8に基づいて、実際の調整過程の検討がなされた。また、分科会委員の参加・関与の方法や、依頼の前後での所属分野別委員会への連絡の仕方についても確認した。人数としては、グランドビジョンごとの担当者選出を基本とし、人数が膨らむこともあり得るため当初は最大90名による委員構成を規定しておくこととした。これに合わせて、資料6の文面を調整した。なお、今回委員が空白となることが想定される分野別委員会については、グランドビジョンに深く関連する委員会もあり、また審査の公正性を担保する必要もあるので、委員の選出を依頼することとした。

続いて、資料9と資料10に基づいて、その内容と文面を確認した。利益相反に関し、改訂に際して今回提案者が前回提案者と異なる場合には、前回提案者は本分科会及び評価小委員会委員になることはできるが、当該提案の審査・評価には関与できないことが確認された。

資料6、7、9及び10の最終的な文面の微調整については役員に一任することとされた。

### 3) 未来の学術振興構想の策定における審査・評価プロセスについて

資料4の審査・評価プロセスについての部分に基づいて、9月24日の分科会での議論に向けて予備的な議論がなされた。新規案件の各グランドビジョンへの振り分け方法等について、意見が交換された。次回への継続審議となった。

### 4) その他

次回9月24日の分科会開催までに、必要があればメール等で連絡を取り細部を詰めていくことになった。

以上